



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月31日 東

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所  
 コード番号 4659 URL <http://www.ajis.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西岡 博之 (TEL) 043-350-0567  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	5,778	3.6	334	23.3	349	25.1	213	47.2
2018年3月期第1四半期	5,578	3.9	271	△23.3	279	△24.6	145	△38.9

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 191百万円(31.2%) 2018年3月期第1四半期 146百万円(△36.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年3月期第1四半期	24	28	—	—
2018年3月期第1四半期	16	50	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	16,483	79.5	13,283	79.5		
2018年3月期	17,876	75.1	13,600	75.1		

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 13,105百万円 2018年3月期 13,425百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00	0.00
2019年3月期	—	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	13,910	7.7	1,756	17.8	1,765	17.1	1,190	20.3	135	14
通期	28,500	6.1	3,500	7.4	3,541	7.0	2,407	7.6	273	35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期1Q	10,771,200株	2018年3月期	10,771,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年3月期1Q	1,965,705株	2018年3月期	1,965,668株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年3月期1Q	8,805,514株	2018年3月期1Q	8,805,672株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年6月30日)におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しの動きが続くなか、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしましたが、米国の新政権による政策動向や、中国を始めとするアジア新興国の経済動向等、世界経済の不確実性により先行き不透明な状態が継続いたしました。当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましても、業態を超えた販売競争の激化及び人件費の高騰等により引続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画(2017年度～2019年度)の2年目として計画に基づいて事業を展開し、中長期での安定的な成長を見据え、さらなる事業基盤の強化に注力しました。また、当社の非連結子会社であったAJIS (Vietnam) CO., LIMITEDを当第1四半期より新規連結しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,778百万円(前年同四半期比3.6%増)、営業利益334百万円(前年同四半期比23.3%増)、経常利益349百万円(前年同四半期比25.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益213百万円(前年同四半期比47.2%増)となりました。

セグメントごとの業績は、以下の通りであります。

#### ① 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、既存顧客の新店増、実施日程枠の拡大による棚卸実施店舗数増およびストックルームのカウンタ実施等による棚卸実施範囲拡大等により、増収となりました。また、利益面においては前期に引き続きカウンタ作業生産性が大きく伸長したため、大幅な増益となりました。売上高は3,584百万円(前年同四半期比2.9%増)、セグメント利益は297百万円(前年同四半期比115.2%増)となりました。

#### ② リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、新規出店時や店舗改装時の陳列業務、および店舗商品補充業務の受注拡大により、前期に引き続き売上増加基調で推移しております。利益面においては契約社員の正社員登用等の体制強化のための販売管理費増により減益となりました。売上高は1,735百万円(前年同四半期比7.1%増)、セグメント利益は64百万円(前年同四半期比50.0%減)となりました。

#### ③ 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、前期のエイジスビジネスサポート株式会社(エイジス韓国)の決算月変更にともなない前年同四半期の対象月がずれ込んだこと、体制強化のための販売管理費増およびAJIS (Vietnam) CO., LIMITEDの新規連結等により、減収・減益となりました。売上高は457百万円(前年同四半期比3.2%減)、セグメント損失は31百万円(前年同四半期は1百万円のセグメント利益計上)となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は16,483百万円(前連結会計年度比7.8%減)となりました。これは、主として第1四半期連結会計期間は閑散期につき前連結会計年度と比較して売掛金が減少したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,200百万円(前連結会計年度比25.1%減)となりました。これは、主として閑散期による給与の未払金の減少および未払法人税等を納付したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は13,283百万円(前連結会計年度比2.3%減)となりました。これは、主として配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっております。現時点での通期業績予測につきましては、2018年5月14日に発表いたしました「2018年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,690,632	8,191,117
受取手形及び売掛金	3,971,197	2,785,595
貯蔵品	46,039	46,363
その他	215,055	228,582
流動資産合計	12,922,925	11,251,658
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	860,177	914,115
有形固定資産合計	2,136,572	2,190,510
無形固定資産		
のれん	162,396	178,710
その他	421,660	408,335
無形固定資産合計	584,056	587,045
投資その他の資産		
投資有価証券	1,584,735	1,875,809
その他	648,195	578,576
投資その他の資産合計	2,232,931	2,454,385
固定資産合計	4,953,560	5,231,941
資産合計	17,876,486	16,483,600
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	77,255	77,042
1年内返済予定の長期借入金	2,352	2,628
未払金	2,200,460	1,849,951
未払法人税等	598,991	148,178
賞与引当金	431,222	230,551
役員賞与引当金	20,641	4,183
その他	843,463	799,879
流動負債合計	4,174,388	3,112,415
固定負債		
長期借入金	17,351	16,490
退職給付に係る負債	11,240	12,600
その他	72,647	58,977
固定負債合計	101,240	88,068
負債合計	4,275,628	3,200,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	492,088	492,088
利益剰余金	14,826,518	14,535,320
自己株式	△2,463,941	△2,464,081
株主資本合計	13,329,665	13,038,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,891	79,636
為替換算調整勘定	10,374	△12,543
その他の包括利益累計額合計	96,266	67,093
非支配株主持分	174,925	177,695
純資産合計	13,600,858	13,283,116
負債純資産合計	17,876,486	16,483,600

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	5,578,823	5,778,368
売上原価	4,277,468	4,297,240
売上総利益	1,301,355	1,481,127
販売費及び一般管理費	1,029,915	1,146,356
営業利益	271,439	334,771
営業外収益		
受取利息	2,320	4,257
受取配当金	4,880	5,429
受取賃貸料	5,401	5,643
その他	5,771	7,103
営業外収益合計	18,374	22,435
営業外費用		
支払利息	251	573
為替差損	6,887	3,313
賃貸費用	2,618	2,727
その他	381	722
営業外費用合計	10,139	7,336
経常利益	279,674	349,869
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,999
特別利益合計	—	3,999
税金等調整前四半期純利益	279,674	353,869
法人税等	123,462	132,817
四半期純利益	156,212	221,052
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,939	7,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,273	213,800

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	156,212	221,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,815	△6,255
為替換算調整勘定	△15,831	△23,006
その他の包括利益合計	△10,015	△29,262
四半期包括利益	146,196	191,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,275	184,626
非支配株主に係る四半期包括利益	10,920	7,163

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,485,237	1,620,291	473,295	5,578,823
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,471	10,749	—	33,220
計	3,507,708	1,631,040	473,295	5,612,044
セグメント利益又	138,263	128,411	1,434	268,108

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	268,108
セグメント間取引消去	3,330
四半期連結損益計算書の営業利益	271,439

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,584,749	1,735,637	457,981	5,778,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,624	1,609	—	24,233
計	3,607,374	1,737,246	457,981	5,802,602
セグメント利益又は損失(△)	297,518	64,219	△31,570	330,168

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	330,168
セグメント間取引消去	4,602
四半期連結損益計算書の営業利益	334,771

## (追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

以 上